

京大炉におけるビーム利用のための次期中性子源検討Ⅴ

ワークショッププログラム

日時：2018年1月10日（水） 10:40～17:10

場所：京都大学原子炉実験所 図書棟会議室

10:40-11:05 日野正裕(京大炉)「ワークショップ趣旨説明・中性子集光光学開発の進展」

11:05-11:30 石禎浩(仮)(京大炉)「FFAG 加速器の現状と今後」

11:30-11:55 田中浩基(京大炉)「BNCT 加速器中性子源(C-BENS)の現状と今後」

昼食：11:55-13:00

13:00-13:25 堀順一(京大炉)「京大炉電子ライナックの現状と今後」

13:25-13:50 木野幸一(産総研)「産総研に建設中の小型電子加速器中性子施設の現状と今後」

13:50-14:10 田崎誠司(京大工)「京都大学理学部小型中性子源(KUANS)の現状と今後」

14:10-14:30 安部豊(京大工)「熱中性子散乱断面積解析コード(KUNSCA)開発と展開」

14:30-14:50 沖田将一郎(京大工)「KUANS 減速材の改良」

休憩：14:50-15:10

15:10-15:35 池田義雅(理研)「理研小型加速器中性子源(RANS)の最新成果と高度化」

15:35-16:00 山形豊(理研)「理研小型加速器中性子源(RANS)冷中性子源開発とその利用」

16:00-16:25 広田克也(名大理)「名古屋大学小型中性子源(NUANS)の現状と今後(仮)」

16:25-17:10 総合討論

「地域拠点中性子源」「複合原子力科学研究所次期中性子源開発」等について